

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター

理事会議事録

1. 開催された日時 平成31年2月7日(木) 9時55分～10時40分
2. 開催された場所 一宮地場産業ファッションデザインセンター 2階第1会議室
3. 総数及び定足数 総数9名、定足数5名
4. 出席理事数 7名
(出席)中野 正康、豊島 半七、小林 増男、加藤 錠司郎、末松 光生、和田 彌一郎、上田 康彦
(欠席)早川 隆雄
5. 出席監事 平野 茂樹

6. 議 題

決議事項

議案第1号「2019年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込み」の件

議案第2号「管理及び運営に関する規程」の件

議案第3号「平成30年度補正予算」の件

報告事項

議案第4号「平成30年度事業進捗状況」の報告の件

7. 議事の経過及びその結果

定刻5分前に事務局から理事会の開会宣言をした。本日の出席は理事現在数8名中7名であり、理事会として成立していることを宣言し、また定款第35条に基づき中野理事長が議長、同第39条第2項に基づき議事録署名を中野理事長及び平野監事とし、議案の審議に入った。

(1) 決議事項

○議案第1号「2019年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込み」の件

議長の指示により、事務局から、議案書及び参考資料に沿って詳細に説明した。

事業の全体概要としては、世界一のエコ、エシカル、サステナブルな産地を目指して3P事業を引き続き実施し、環境等に配慮し、若者が地元就職・定着する、産地企業の就職につながるような事業の仕組み、技術者の産地企業への定着を促し、技術承継ができるような事業内容に変更拡充を図っていく旨説明した。

次に、それぞれの事業について30年度事業内容と比較しながら事業計画、予算案についてそれぞれの事業毎に詳細に説明した。

引き続き予算書について説明した。

資金調達及び設備投資の見込みについては、現在のところ予定はないと説明した。

以上、同議案に対して質疑等なく、原案通り出席理事全員一致で承認された。

○議案第2号「管理及び運営に関する規程」の件

議長の指示により、事務局から議案について詳細に説明した。

2019年10月に予定されている消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴い、施設使用料金を改定(引き上げ)する旨説明した。

以上、同議案に対して質疑等なく、原案通り出席理事全員一致で承認された。

○議案第3号「平成30年度補正予算」の件

事務局よりサポイン事業に伴う補正予算について説明した。

以上、同議案に対して質疑等なく、原案通り出席理事全員一致で承認された。

(2) 報告事項

○議案第4号「平成30年度事業進捗状況」の報告の件

事務局より平成30年度事業進捗状況について、資料により予算の12月末の執行済み額も示し報告した。

同議案に対して、次のとおり質疑応答があった。

(議長)

資料20ページ、海外販路開拓支援事業のマッチングサイト「ル・スーク」について、サンプルリクエスト57件、オーダー13件とあるが、参加した3社1団体のすべてがマッチングしたのか、それとも1社だけの勝ち組であったのか。

(事務局)

参加した所は、それぞれの成功につながっている。メリットがあり参加している。ただ、言語の面で苦労しているとは聞いている。

(議長)

百貨店や有名アパレルと組み合わせたタグについては、どのように進んでいるのか。

(事務局)

2つのタグを入れるとうるさくなってしまう。名古屋の百貨店では、カタカナの「ピ」として、尾州マークにとらわれずに、わかりやすいタグを作り、秋に展開している。

以上をもって議案の審議等を終了したので、午前10時40分、議長は閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人は記名押印する。

平成31年2月7日

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター

理事長

中野正康

監事

中野茂樹